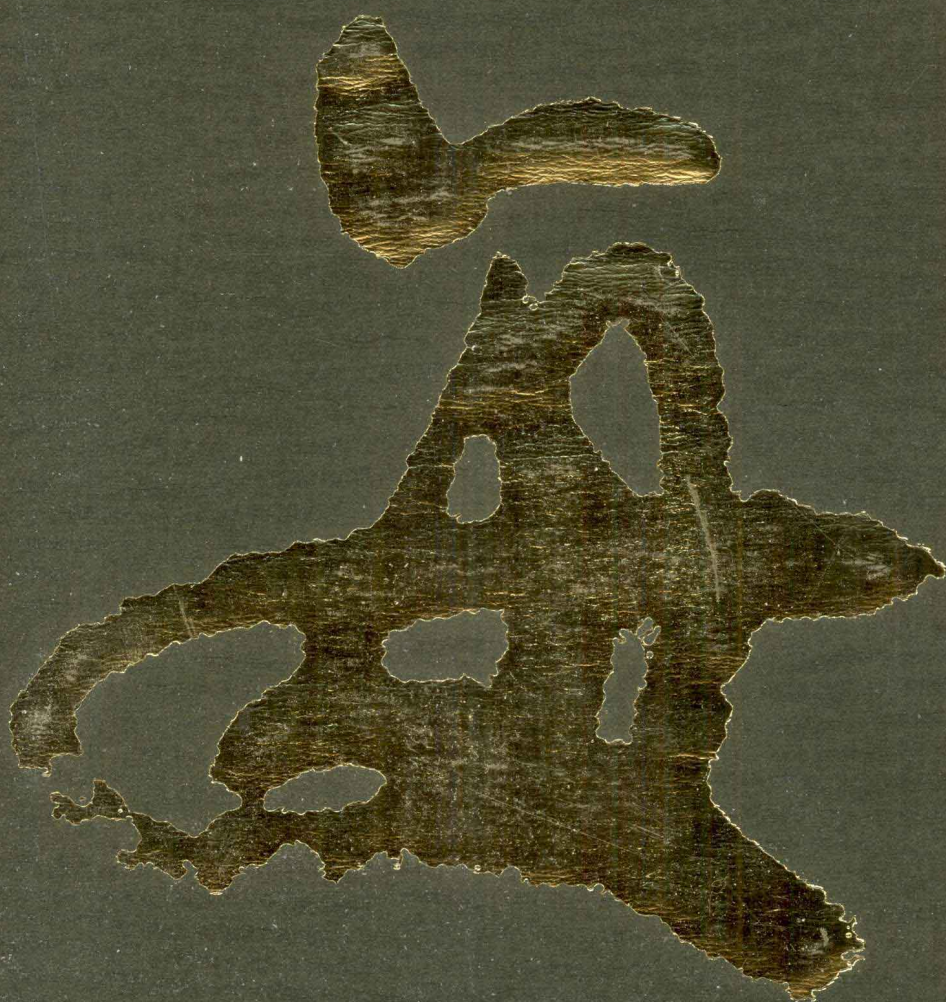




1994年

第46回毎日書道展作品集

発行＝毎日新聞社

財団法人毎日書道会

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

毎日新聞社内

印刷＝猪瀬印刷株式会社

製本＝吉嶋製本工業株式会社

制作＝美術出版デザインセンター

第46回
每日書道展作品集



江苏工业学院图书馆
藏书章

毎日新聞社
(財)毎日書道会

第46回
每日書道展作品集

目次

あいさつ	7
(財) 毎日書道会理事・監事・総務・顧問・評議員	9
毎日書道展運営委員・会員賞選考委員・各展実行委員長	9
審査員	81
名誉会員	139
参与会員	149
審査会員／漢字部	161
審査会員／かな部	191
審査会員／近代詩文書部	211
審査会員／一字書部	237
審査会員／篆刻部	249
審査会員／刻字部	255
審査会員／前衛書部	261
会員／漢字部	279
会員／かな部	365
会員／近代詩文書部	423
会員／一字書部	495
会員／篆刻部	525
会員／刻字部	535
会員／前衛書部	549
物故作家	585
第46回毎日書道展会員賞選考委員・審査員写真	596
(財) 毎日書道会役員・委員	597
第46回毎日書道展役員	597
作品索引	613

あいさつ

第46回毎日書道展の公募は29,558点を数えました。長期化する経済不況と公募料値上げなどの悪条件の中、前年よりわずかに減少したとはいえ、3万点に近い応募数はさすが伝統の力といえるでしょう。役員作家数も年ごとに上昇し、第47回展での昇格予定者を含めると、2,564名（11月15日現在）になりました。国内最大規模を誇る毎日展らしく力強い前進ぶりです。

第46回展は昨年と同じく全国10会場で毎日展を開催したわけですが、各会場とも誠に盛大で、毎日展の偉容は全国に誇示されました。

第40回の記念展からスタートした海外展は第45回展で一応ストップし、しばらく国内に力点を置く方針としました。その結果は全国巡回展に続き、広島で開かれた第12回アジア競技大会1994アートフェスティバルへの参加、さらには「シルクロードのまもり」中国・木簡古墓文物展の成功に結びつきました。国外、国内を問わず、毎日展の底力が発揮できるのは、まさに伝統の力が裏づけとなっているからです。

古典に力脚し、創作性、現代性にあふれる毎日展は、さらにその幅をひろげ、真価を発揮しております。書芸術の華ともいえる現代書の追求に向けた新しい角度からの視点も必要です。

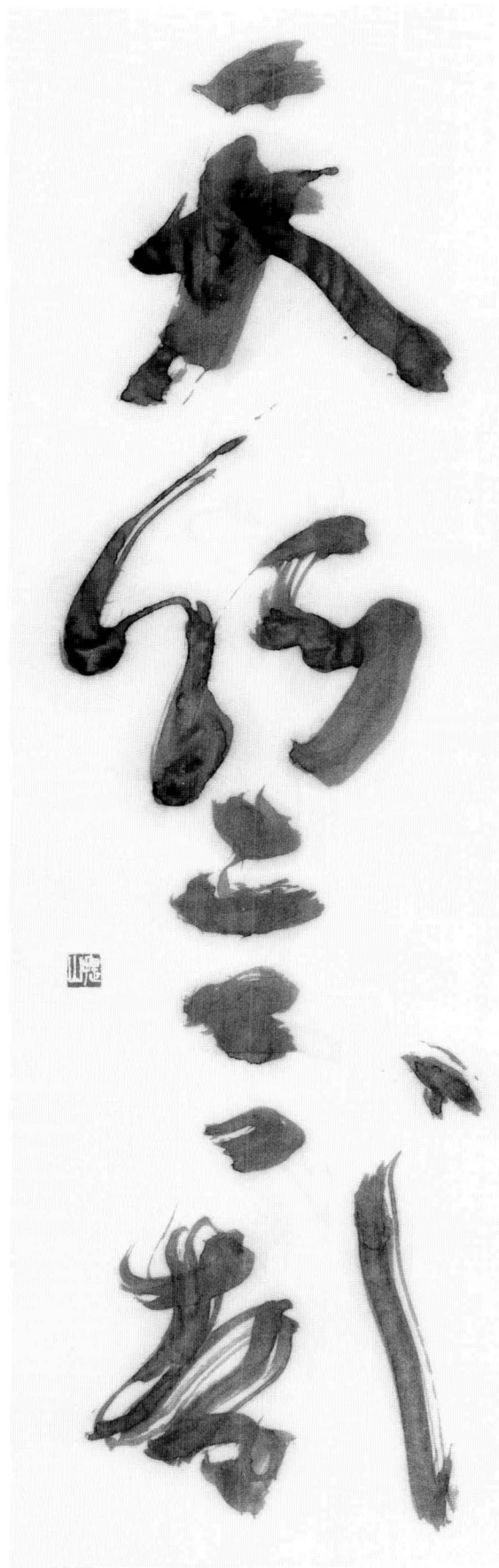
ここに収録されている7部門の伸び伸びとした現代書をご清鑑ください。

平成6年12月吉日

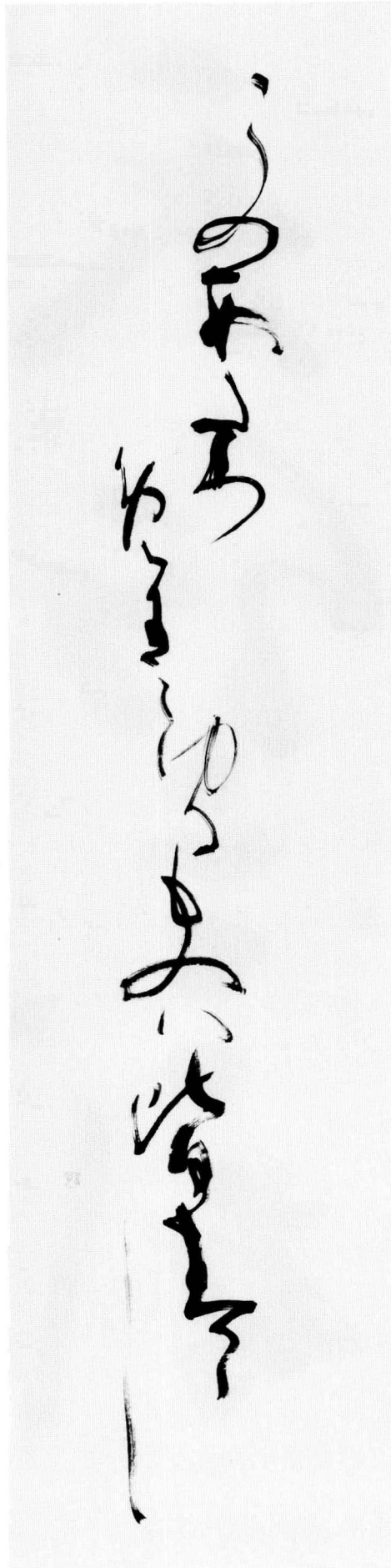
（財）毎日書道会
毎日新聞社

**理事・監事・総務・評議員
運営委員・会員賞選考委員
各展実行委員長**

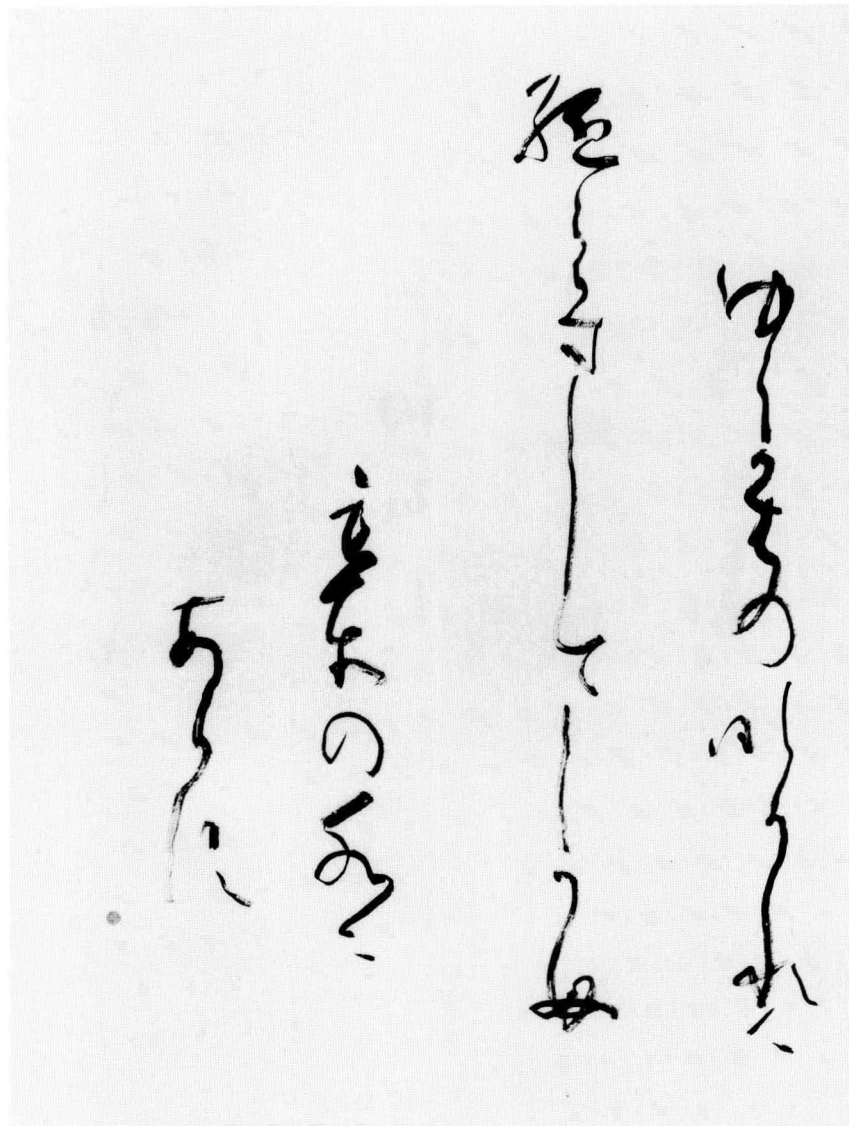
- 〈理〉— 勸毎日書道会理事
- 〈監〉— 勸毎日書道会監事
- 〈総〉— 勸毎日書道会総務
- 〈評〉— 勸毎日書道会評議員
- 〈運〉— 毎日書道展運営委員
- 〈会〉— 毎日書道展会員賞選考委員
- 〈審〉— 毎日書道展審査員
- 〈名〉— 毎日書道展名誉会員
- 〈参〉— 毎日書道展参与会員
- 〈実〉— 各展実行委員長

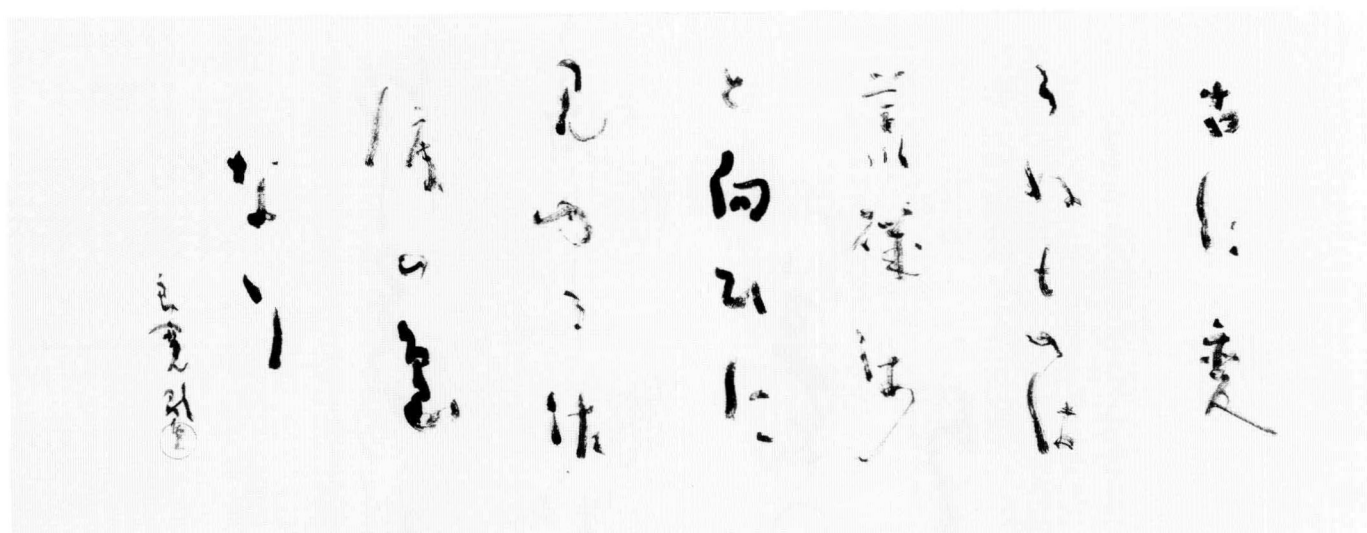


戸田提山——天何言哉 孔子——[漢字部]〈理・会・参〉



飯島春敬——松尾芭蕉の句——[かな部]〈理・会・名〉





いづかき嶺をのぼり
来いとまに舟の先は
八谷をよらす

斎藤茂吉
金子鷗亭
書